


	1年次	2年次	3年次	4年次
■4年間の学び	一般教養および専門基礎分野を学び、早期に実習を体験することで医療人としての動機づけを高めます	歯科の専門分野についての知識・技術を講義・実習から多角的に深めていきます	学外医療機関等での臨床実習を通じて歯科衛生士に必要な実践力を身につけていきます	学外での臨床実習、卒業研究に加えて国家試験に向けての対策を重点的におこないます
基礎分野	<p>一般総合科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文理学 PICK UP 01 ●心理学A ●情報処理 ●応用生物学A ●健康スポーツA・B ●英語A①・B① ●倫理学A ●英語A②・B② ●社会学A ●化学A など 	<p>マネキン模型実習</p>  <p>臨床実習に先立ち、歯垢や歯石の除去等の歯科衛生士に必要な技術の基礎を学びます。</p>	<p>臨床スキルを高める最新の実習設備</p>  <p>基礎実習室 48台のファントム実習機を設置しており、1人1台の恵まれた環境で基礎実習ができます。</p>	 <p>臨床実習室 40人の定員に対して24台の最新歯科診療ユニットを設置しており、日本でトップクラスの充実した環境で臨床実習をおこなうことができます。</p>
専門基礎分野	<p>人体の構造と機能(歯・口腔を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人体の構造・機能学I・II ●生化学(栄養学基礎・代謝学を含む) <p>歯・口腔の構造と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ●口腔解剖学・口腔生理学I・II PICK UP 02 <p>疾病の成り立ちおよび回復過程の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病理学(口腔病理学を含む) ●薬理学(歯科薬理学を含む) ●微生物学(感染学・免疫学を含む) <p>歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歯科衛生統計 ●衛生行政 ●衛生学・公衆衛生学 ●口腔衛生学 ●医療情報処理学 	<p>口腔解剖学・口腔生理学III</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病理学(口腔病理学を含む) ●薬理学(歯科薬理学を含む) ●微生物学(感染学・免疫学を含む) <ul style="list-style-type: none"> ●歯科衛生統計 ●衛生行政 ●衛生学・公衆衛生学 ●口腔衛生学 ●医療情報処理学 	<p>基礎実習室</p> <p>臨床実習室</p> <p>模擬歯科診療室</p> <p>レントゲン室</p>	<p>臨床実習室</p> <p>模擬歯科診療室</p> <p>レントゲン室</p>
専門分野	<p>歯科衛生士概論</p> <ul style="list-style-type: none"> ●口腔保健学概論 <p>歯科診療に関わる専門科目</p> <p>コミュニケーション論</p>  <p>歯科衛生士として必要なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につけます。授業の一環として口腔ケアや福祉の先進国であるフィンランドの大学生と交流することにより国際的な視野や知識を身につける機会を設けた取り組みもしています。</p> <p>歯科衛生士の3大業務に関連する重要科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●口腔保健衛生学基礎実習 ●口腔疾患予防学 ●口腔疾患予防学実習I ●臨床心理学 ●医療倫理学 ●歯科保健指導論 ●歯科保健指導演習 ●歯科英語 ●歯科診療補助論 ●歯科診療補助論基礎実習I <p>オーラルヘルスプロモーション</p> <p>オーラルヘルスプロモーション</p> <p>口の健康が全身の健康増進にどのようにつながるかについて、ライフステージに沿って健康の基盤形成・維持・増進・回復の観点から学び、専門性の高い歯科衛生士として口腔保健指導を各場面に応じて実践できる力を修得します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●発達系歯科学 ●保存系歯科学 ●補綴系歯科学 ●外科系歯科学 <ul style="list-style-type: none"> ●口腔保健衛生学基礎実習 ●口腔疾患予防学 ●口腔疾患予防学実習I ●臨床心理学 ●医療倫理学 ●歯科保健指導論 ●歯科保健指導演習 ●歯科英語 ●歯科診療補助論 ●歯科診療補助論基礎実習I <p>オーラルヘルスプロモーション</p> <p>口の健康が全身の健康増進にどのようにつながるかについて、ライフステージに沿って健康の基盤形成・維持・増進・回復の観点から学び、専門性の高い歯科衛生士として口腔保健指導を各場面に応じて実践できる力を修得します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●歯科放射線学 ●歯科麻酔学 <ul style="list-style-type: none"> ●口腔疾患予防学実習II ●高齢者口腔保健衛生学 ●摂食嚥下リハビリテーション学 <ul style="list-style-type: none"> ●食生活指導論 	<ul style="list-style-type: none"> ●チーム歯科医療学 <p>チーム歯科医療学</p> <p>医療や介護の現場で、それぞれの専門職種の業務内容やチームの中での相互連携の仕方、および多職種連携における口腔ケアや食事支援など口腔保健の専門職としての役割について学びます。</p>
	<p>臨床実習(臨床実習を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●口腔保健臨床実習I(早期体験実習) PICK UP 03 <p>社会福祉関連の専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション論 ●現代社会と福祉I・II 		<ul style="list-style-type: none"> ●地域歯科保健臨床実習 ●高齢者福祉に対する支援と介護保険制度 ●障がい者に対する支援と障がい者自立支援制度 ●社会調査の基礎 ●社会保障 	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業研究

歯科衛生士国家試験 受験・合格

就職・進学


科目PICK UP

PICK UP 01 文理学
— 人間福祉学科との合同ワークショップ —



多職種が連携して地域の有病・要介護高齢者を支える仕組みづくりが進む中、関連職種の連携教育が重要視されています。口の健康を全身の健康につなげる歯科衛生士をめざす本学科と社会福祉士をめざす人間福祉学科の1年生が「高齢者のイメージ」のテーマで合同ワークショップをおこないます。他の専門分野をめざす学生の視点や考え方を学ぶことができる授業です。

PICK UP 02 口腔解剖学・口腔生理学I・II
— 歯のスケッチ —



口腔解剖学では正常な歯やあごの構造と機能について学びます。とくに上下で32本ある永久歯と20本ある乳歯のそれぞれの特徴を知ることが歯科衛生業務をおこなうために欠かすことができません。この講義では歯の模型のデッサンをおこなうことで歯の解剖学的構造についての理解を深めます。

PICK UP 03 口腔保健臨床実習Iと早期体験実習
— ブラッシング指導 —



相互歯磨き実習では、術者役、患者役、補助者役を体験することで、歯科医療従事者として必要な清潔・不潔の区別の大切さや患者さんへの言葉かけ、相手への思いやりを学びます。

— 幼稚園実習 —



1年次後期に、本学附属幼稚園年少児の口腔の状態、身体や行動様式などを観察します。3年次後期には再び年長児となった同じ園児と関わり、2年間のさまざまな変化を体系的に学習できます。

— 高齢者施設実習 —



高齢者施設に入所する要介護高齢者と密接に関わることで、医療人として重要な他者理解やホスピタリティ・マインドを持って対応することを学びます。